

【評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切 ※ 評価点はいずれも平均値  
【集計】 自己評価 8名 外部評価 13名

### 1 教育方針

評価項目	評価
①学校の教育方針・経営目標・育成人材像は定められているか	3.6
②学校の教育方針・経営目標・育成人材像が保護者等に周知されているか	3.6
③社会のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4
【考察】教育方針はほぼ明確	

#### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
教育方針に関する評価	3.8	・募集停止という厳しい経営環境の下、質の高いロシア語教育をしている。 ・学校運営について、保護者の理解を得ながら進めている。

### 2 学校経営

評価項目	評価
①経営目標に沿った重点事項が明確にされているか	3.5
②経営目標に沿った事業計画が立案されているか	3.6
③運営組織や意思決定機能は、規程等において明確化され、有効に機能しているか	3.8
④教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.5
⑤PC等による業務の効率化が図られているか	3.4
【考察】2025年度からの募集停止を前提の方針になっている	

#### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
学校経営に関する評価	3.7	・閉校という厳しい現実のもと、関係機関との連携や関連法規や通達を熟知し、職員の退職後のことなど最善の方法を考慮しており敬意を表す。 ・閉校に向け、利害関係者の理解を得ながら経営している。

### 3 教育活動

評価項目	評価
①教育方針等に沿った教育課程の編成・実施方針などが明確にされているか	3.9
②教育方針、育成人材像を踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.9
③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
④授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8
⑤成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9
⑥教員の指導力向上のための研修等が行われているか	3.4
【考察】所定の授業時間数と教育の質に重点を置いている	

#### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
教育活動に関する評価	3.8	・日本で唯一のロシア連邦大学の日本校として、ネイティブスピーカーを中心とした特色ある教育活動を行っている。 ・レベルの高いロシア関係の講義を行ない、個々の学生の能力や適性に合わせたきめ細かい指導がなされている。 ・少ない学生と行事などを行ないコミュニケーションを深めている。

### 4 学修成果

評価項目	評価
①就職率の向上が図られているか	3.1
②退学率の低減が図られているか	3.3
③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6
【考察】学習意欲は高く、結果を出している	

#### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
学修成果に関する評価	3.6	・ロシアへの留学なども継続され、極めてレベルの高いロシア関係の講義で、個々の学生の熟度も極めて高いように思われる。

### 5 学生支援

評価項目	評価
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.3
②学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
④学生の生活環境への支援は行われているか	3.4
⑤保護者と適切に連携しているか	3.6
⑥卒業生への支援体制はあるか	3.2
【考察】卒業生への支援にまでは手がまわっていない	

#### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
学生支援に関する評価	3.8	・個々の学生の希望や状況に寄り添い転校、進学、在籍の様々なケースに対応した指導がなされている。 ・個別に就職支援している。

## 6 教育環境

評価項目	評価
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な指導体制を整備しているか	3.3
③防災に対する体制は整備されているか	3.8
【考察】ウラジオストク本学への留学実習の実現により、学んできたロシア語のレベルアップと現地での生活感覚を養っている。	

### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
教育環境に関する評価	3.2	・校舎の老朽化などやむを得ない状況の中で、校舎の清掃やPCの解放など生徒の大学生活に必要なことは確保されているように思われる。・ウラジオストク本校への留学を継続している。・現在の状況下で、学校、学生、最善を尽くしている。

## 7 学生の受入・募集

評価項目	評価
①学生募集は適正に行われているか	0.0
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	0.0
③学費・納付金は妥当なものとなっているか	3.5
【考察】募集停止をしている状態で最善を尽くしている	

### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
学生の受入・募集に関する評価	3.2	・募集停止の状況にあり、評価できない。

## 8 財務

評価項目	評価
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.8
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	3.4
③財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
④財務情報公開の体制整備はできているか	3.6
【考察】細心の注意を払いながら経営に当たっている	

### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
財務に関する評価	3.6	・平成10年度から函館市が運営支援補助金を交付していたが、ウクライナ侵攻の影響もあり、学生数が定員を大幅に下回る状況が続いたことから、令和7年度の募集停止に至ったが、引き続き学生の修学機会の確保を前提に、経営努力を進めていただきたい。・大変厳しい状況の中で、余剰経費削減などに取り組んでいるが、閉校後の支出等の見通しを早めに確定する必要があると思われる。・閉校に向け、市や道などの理解を得ながら進めている。

## 9 法令等の遵守

評価項目	評価
①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
③自己評価を実施し、問題点の改善を行っているか	3.5
④自己評価結果を公開しているか	3.9
【考察】すべての項目で適切な対策がとられている	

### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
法令等の遵守に関する評価	3.7	・細かい法令や条例等に精通し、可能な範囲の中で職員や学生の支援に務めている。

## 10 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.8
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3
③地域に対する公開講座・研修・他教育機関における指導を積極的に実施しているか	3.8
【考察】授業時間の確保と社会貢献との両立に尽力している	

### 【関係者評価】

評価項目	評価	【ご意見】
社会貢献・地域貢献に関する評価	3.8	・多数の市民がロシアを身近に感じることができる機会となっていた「はこだてロシアまつり」の開催は見送ることとなったが、一般市民を対象としたロシア語やロシア文化の講座を開講し、市民の国際理解推進に大きく寄与している。・少ない人数の中でコンサートやロシアまつり、ロシア語講座など函館市民に対する貢献に力を入れている。・ベリョースカクラブなど市民の理解を得て活動している。・現在に至るまで社会貢献、地域貢献に尽力し、多大な貢献をしていることに対し敬意を表します。